

The degenerating moon
Ithyphallic sea

随
月
淫
海

狂

成年向
FOR ADULT ONLY



The degenerating moon
Ithyphallic sea

随
月
淫
海



順調にセキレイを増やす皆人に瀬尾は語る

口付けだけでは仮契約で本当の意味で
セキレイはアシカビと婚いだ事にはならないと

セキレイはアシカビから精液を得る事で力を増していく存在であり
本契約を結ぶに性交する事が大事であり
真の意味で絆を深めるには抱いてやれと瀬尾は言うのだが
奥手の皆人にはもうひとつ踏ん切りがつかずに居ただが
仮契約とはいえその力は絶大でありセキレイ自ら望まぬ限り
他の者が仮契約を結ぶことは出来ず
もちろん本契約に進む事も無いとの話ではあったが…

一方その頃皆人のセキレイである月海はとある青年と出会っていた
彼の名は神楽

皆人から力を得る事の無かった月海は

彼とある契約を結んでいた

神楽は性処理を月海に求め

月海は彼から力の源である精液を得ることである

ギブアンドテイクの関係でしかなかった筈の二人であったが

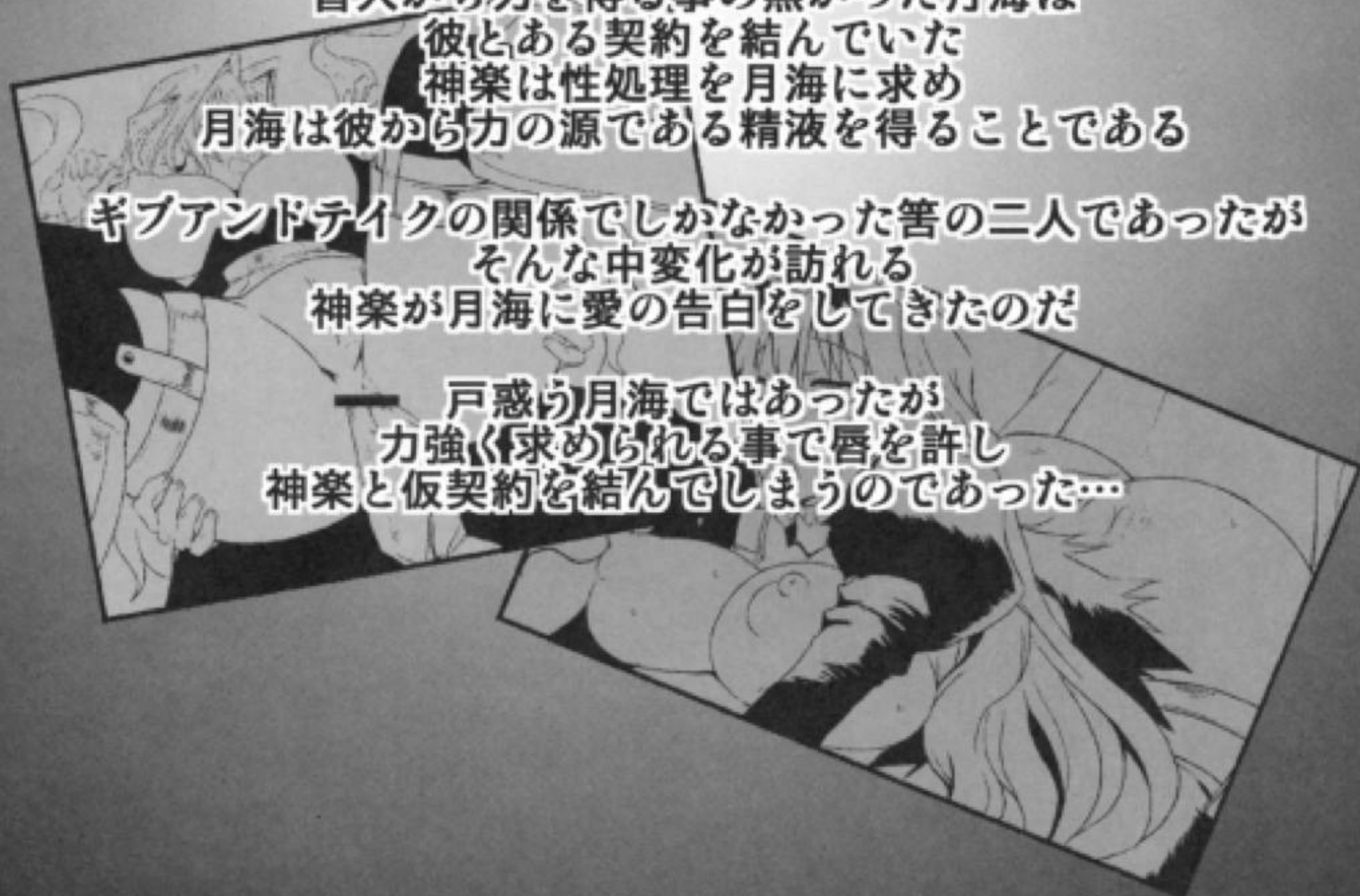
そんな中変化が訪れる

神楽が月海に愛の告白をしてきたのだ

戸惑う月海ではあったが

力強く求められる事で唇を許し

神楽と仮契約を結んでしまうのであった…



町内会主催の夏祭り
出雲荘の住人は
皆が何かしらの用を持ち
出かけていたある日

吾は留守番を
任されよう

うむ...

それは起こった

本当に
行かないの？

で、でも
せっかくな
お祭りだし

ひ、一人で留守番
なんて寂しいよ？

あ、もしかして
具合悪いのかな？

そ、そっか

吾なら
心配は無用じゃ

それに皆が
留守にするのも
無用心じゃろう？

狭りの方が落ち着いて
風呂にも入れるしな

数刻前

今宵は祭りか…

神楽と仮契約してから
一週間が過ぎていた…

こうしてノンビリ
風呂に浸かるのも
久しぶりじゃ…

だがそれ以来
あ奴とは
会っていない

ん…

…こうして
狭り風呂に入る
様になったのも

また少し…
大きくなって
おるな

神楽と仮契約を
結んだ敵の事

あの場の雰囲気と
勢いに吞まれ
ついに心を許してしまっただが

んっ？

百は哲人の
妻なのじゃ…

あっ

曲者!?

明らかに仮契約以降
変化する肢体は
背信の機か…
さもなれば神楽の力か

水祝っ！

の…



あ...
その...
これは...



なっ...
みな...
どう?

きょ...
...



吾は汝の妻ぞ
コソコソと覗き見すとも
入ってくれば良...

んっ?

あ...



なんじゃ
ソレは...



...射精?

...



いや
これは...

男なら致し方ない
というか...こめん
わざとじゃ...

「パルパド」
強姦してやるのか...
なんて...雑種な
シロモノなのじゃ...
神楽とは比べ...



OKI28

…海



月海？

な、なんじゃ？

いや…急にボケっと
しちゃってたから…



…今朝の事を
思い出してた
だけじゃ



…言えぬ
神楽のアレを
思い返してたとけ…



あ…

…それにしても
皆人はこんな
情けない男じゃったか？

たしかにイチモツは
未発達なシロモノじゃったが
それでも皆人が求めておれば
吾はきつと…

あ…それじゃ
そろそろ俺は
行くね！

月海も
来なくなったら
おいでよ
お待ちしております



しどろ もどろ



あ…あのさ
その…

…行ったか

機嫌も皆無(い)うで
取る事になっておるから…
福りは夜更けになるのか

それまで
…たいい間があるな

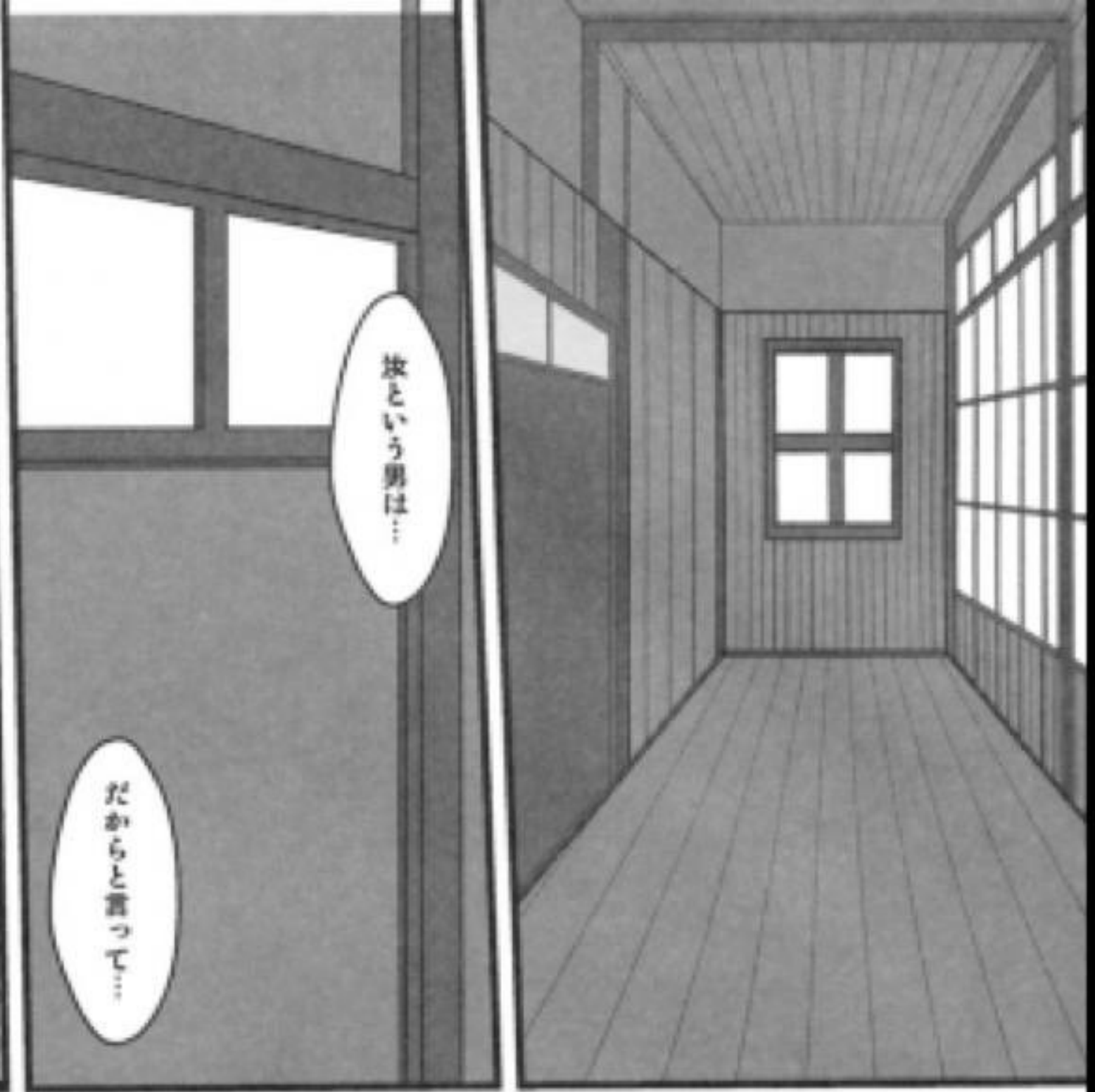


ドクドク

……



出雲荘に来る事は無いじゃろう



汝という男は…

だからと言って…



吾からは…何も言えん

あ、あれは一時の気の迷いとかじゃ

吾と汝は単なる…

だがな…淫狼…汝がそうしたいのならその様に…するが良い

でブチューーっとした仲だよな



オマエから連絡してきた際にそうキャンキャン言うなよ

一週間はあんなに可愛かったのに…

サヤク…



早速敗すと…しますかね…

大蛇…



かっ梅染っ！

まあ淫狼って呼ばれなくなっただけマシなことか？

…っと思は…この辺に…

和毛

いや、
そうじゃ無く
神楽っ

あんまり大きい声
出すと拙いんじや
無いの？壁薄いぜ？

それに色々連絡
取ってきたんだ
オマエだって
飢えてるんだろ？

要らないなら
帰るけど？
どうするんだ？

ま、また
帰らなくても
良いじゃあろうか？

見逃かされておる

要らぬとも
言っておらぬ

いつ皆人達が
帰って来るか
判らぬ状況でも

こうして神楽の
隠し大蛇を
見せられてしまえば

吾の身体は強く
求めてしまう

そうやって素直に
しゃぶるところは
可愛いよな

又か

ちやいほ♡

んっ♡

しゅ♡



胸の奥で先陣や
ンゴッゴッ...

その感じた



そうだ...ねっとり
絡みつくように
しゃぶれよ



こうして
腰を揺ると

マジで
まんこだな



ふむ...

んっ♡



んっ...これなら
どんな男でも
すぐ射精しちまうな

ホントオマエの
くちまんこは良質の
ザーメンホールだぜ

んほっ♡

手荒に喉の奥まで
犯されても
それらが総て快楽へと
変換されていく

随分とおしやぶり
上手なになったな

射撃してやるから
たっぷりと味わえ

精液の味が
口の中一杯に
拡がっていく...

んんっ♡

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

どうだ美味しいか？
1週間ぶりの
ザーメンなものな

タコみたい
吸いついて
残さず喰えよ

幾たび飲んだか
もう判らない
神楽の精液

目隠しをされたとしても
この味を認める事等
無いと断言出来るほど
舌が憶えこんでいる

ハハハ

ハハハ

よーしソコまで
オマエは放っておくと
いつまでも
しやぶってるからな

百の身体は
この白濁液を
糧に生きている
気すらしてしまっ...

んひゃ

もっとオマエが
欲しい処にも
ご馳走してやるからな

ハハ

ハハ

…もうサーメン豚の
離れなくなってやがる

神楽の放つ
明りの言葉すら
吾を火照らせる

そそり立つ
神楽のイチモツは
吾を支配する存在



ぬ
ぬ



身体に満ちる
濃厚な白濁蜜

吾の雌肉が主たる
種からの種に
発情していくの
を感じの



さて…それじゃ
そろそろハメると
するかな

おしゃぶりしただけで
ケツ穴は準備万端に
なってるんだろ？

こうなってしまうば
吾に抗う術は無い

身を焦がすような
熱い火照りと
強烈に昂ぶる性欲に
身体は耐られ

果めに感じるだけの
肉體感になっってしまう



風々しく
強引な口付け



んんっ…

セキレイにとって
口付けは性交に
等しいモノだ

んんっ…

んよう♡



んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡



んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡



深い口付けを
交わせばそれだけで
何故も絶頂をしまう

んんっ…

んんっ♡



んんっ♡

んんっ♡



んんっ♡

んんっ♡



相変わらず
好いケツしてんを

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

吾は力を得るため
神楽は性処理するため
それ以外に意味を持たない儀式を
儀式も今では別の意味を
持ち始めている

更に出張で
神楽に抱かれるという
事が一層背徳感
増へていった...

しかし禁淫や背徳感
異感せばそれだけ
強い欲求を生み出す

吾の揺ぶりは今までの比には
成らぬほど靡らんでいた



もうエネマは不要の
精液便所穴だな

…そんなに
拭けるでない

むわぁ

軽くかき分けただけで
お！おポツカリ奥まで
丸見えになってる

それにしても
柔らかい肛門だな

まあ肉便器がアレだけ
毎日ケツハマしまくれれば
順応しちまうよな

ホレ！
大好物のちんぼだ
たっぷり味わえよ

んくうっ♡

期待と興奮
燃たびも味わった
神楽のソレを焦がれる

んあっ♡

吾の尻穴は神楽に
完全に支配されていた

肛口に触れただけで
軽く絶頂を覚え
溢れる肛液水

あっ♡

あっ♡

あっ♡

ふあぁ♡

んくうっ♡

んくうっ♡

んくうっ♡

んくうっ♡

あーっ

あーっ

あーっ

おおおっ♡

んっ♡

ほあああっ♡

んっ♡

皆人では
満たされぬモノが
神楽にはあり

ああっ♡

神楽の逞しく野太い
イチモツが吾の淫らに
濡れる肛腔を穿つ

すると薄けきつた
吾の胸内はまるで
別の生き物の如く蘇き
精液を得ようと
しゃぶりついていた

吾の心を
強く揺らがせる

神楽から与えられる
雌としての悦びは
吾が肉便器である事を
知らしめさせられるのだ

あっ♡





それにしても
美味そうに精液囓るな

食るって感じだぜ
精液喰らいの異名は
伊達じゃないな

まだまだもっと
食わしてやるよ

たっぷりとな



……これで
4巻目だね

AND

AND

AND

AND

AND

AND

AND

……あ……
んんっ

あ……
んんっ

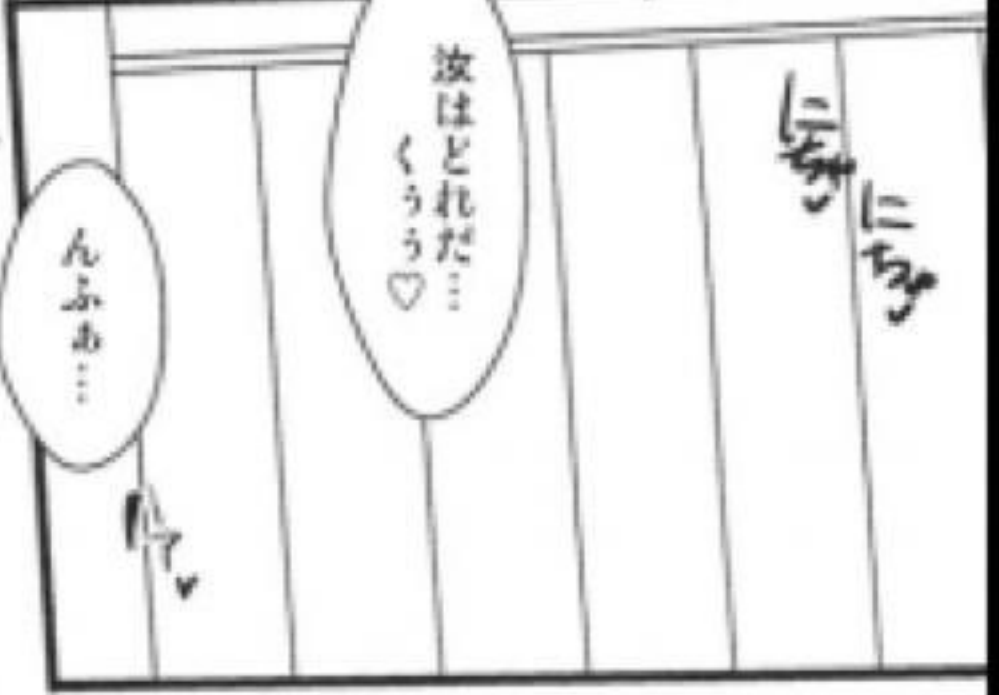
汝はどれただ……
くうう♡

んふあ……

……んんっ♡



……んんっ♡



んんっ♡

……んんっ♡



んんっ♡

んんっ♡

可愛い奴だな

ニヒッ
ニヒッ

ニヒッ
ニヒッ

ま、待つ…
待つのがじゃ神楽

ソソコは…

期待？不安？
なんじゃ…吾は何を
望んで…



無理強いはい
しないぜ？

拒むなら
自分から腰を
浮かせろよ

そこは…
吾の夫だけ…が
んふうう♡

あ

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん

ズッ
ズッ

夫たるアシカビのみに
許すべき場所なのに…
抗う事も出来ぬ…

尻が勝手に沈む…





それは
汝が…

クククッ
入っちゃったぞ?

旦那の事は
良いのかよ

まあオマエは
他の女なものな

そ、それはさあ…



もうオマエの身体は
俺の女だっことを
認めてるんだ

オマエたつて
本当はさう
判ってらねえか…

ふあふあふあ



吾は…
婿人のセキレ…

コタクは良いんだよ

あっ
スジマンもすっかり
ぐさぐさぐさぐさに
悦んでるじゃないか

あっ

あっ

あっ



…あんなに可愛い人…

みな…

皆人の声…

月海…

んっ

んっ

あーん

んっ
んっ
んっ



月海…
あんなに可愛い人…

んっ

神楽の顔…あんなに可愛い人…
あんなに可愛い人…あんなに可愛い人…
あんなに可愛い人…あんなに可愛い人…

満たされていく
唇に空いていく
欠片が埋まる…

んっ



んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ



ああ…なんて事じゃ
こんなにも人を
愛せるものなのか

愛しい…
神楽が愛しい…
君の中に閉まらぬ

あんなに可愛い人…
あんなに可愛い人…

唇に叶えられるなら
胸を投げ打つても
叶えてあげたい…

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

月海？
居るんだろ？

おーい…

…
…やっぱり
お風呂の事怒ってる？

勝手に入るのは…
拙いよな…

…お風呂を
変じ…ておる

今夜はにきく
どうするのじゃ

君の側で
汝は知っておるじやろう

本妻に…

汝の本妻に…

んっ
んっ
んっ

おん
おん
おん

でも本当に良いのか？
俺はソコのアシカビ君より
優しくも無いし

オマエの事を
精液便所としても
扱うぜ？

フフッ…吾は
アシカビが
街便器なのじゃろ？

孕ませても
構わないのか？

汝が望むなら
幾らでも孕む♡

最後は…

勿論目指す！

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク

おん
おん
おん



それでこそ
俺の愛した月海だ!

あはあっ♡

使ってやるよ
この使所まん!



あっ♡

孕む準備でも
してろ
この淫売豚がっ

確実に孕ませて
やるからな...

あはあっ♡



孕むと決めたからか
子宮が活発に♡

あはあっ♡



あはあっ♡

んっ♡

は、排卵はじまっておる
これは...孕む...
今腹内射精されたら
番は...確実に孕む♡



めめての膈内射精
受ければ完全に
楽のモノとなる

神楽っ
わ、吾を孕ませ

あっ♡

あっ♡あっ♡

あっ♡イクっ♡
汝の種で孕むっ♡
かぐらあああっ♡

受精

イク

アッ
アッ
アッ

あっ…あっ♡

排卵

アッ
アッ
アッ

いくぞ…月海
確実に孕めよ

絶対確実妊娠

胎に紋が…

俺の女になれっ！

アッ
アッ
アッ

ああ…♡
神楽への想いだけで
吾が満ちていく

これが真の意味での
夫と性交事…か♡

吾の中にあった
皆人への想いは
受精とともに
完全に霧散していた

吾が生涯愛する男は
最早神楽だけじゃ

ならば伝えねば
なるまい…
あの誓いの言葉を…

神楽…
…幾久しく♡

んあ…♡

んっ♡





その頃
皆人は…

…やっぱりアレが
原因だよな…

しつこくしても
何だし…ホトボリが
醒めるまで
少し掛かりそうかな



それにしても
さっきの月海
なんか息荒かったような
もしかして…月海も
自慰してたとか？

…

ってことは…やっぱり
俺のを見て興奮したとか
そういうのかな…



まあ今日は会うの
やめとくかな…

It will continue next time.



吾の心を感わすは
果蜜の如き味の
欲望の塊たる男の精

主ある身の鶴鴿であつても
幾たびもその甘美な施しを
与え続けられてしまえば
身体はその雄の精で満ちてしまふ

愛する想いと愛される想い
その二つが天秤で揺れ動く
だがその天秤は吾の想いと
精を受けるたびにゆっくりと
傾いていくのを感じていた…



あとかきの様なそんな感じのもの

黄泉比良坂のbbsaconです
手に取ってくださった皆様が
楽しんで貰えたのなら何よりですが
如何だったでしょうか？
前作の続きですが
今回は堕らる様を中心に描いてみました

何ともアレな話ですが
まだもう少し続くので
お付き合い頂ければと思います

今回ゲストをして下さった
比奈子惟さん
TKSさん
本当にありがとうございました


bbsacon

堕らる海賊



巻付
製作 黄泉比良坂
出版人 bbsacon
印刷 ポプルス
発行日2009/08/17
連絡先 sacon7@hotmail.com
<http://bbsaconneo.sakura.ne.jp/>

本書の無断転載並びに18歳未満の閲覧等を禁止します
また今作品はフィクションですのでここに描かれてる行為等を
現実に行う事などせずに自然などで発散しましょう



**YOMOTHU
HIRASAKA**